

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第30週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (30週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。  
5 類感染症：ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 1 例、百日咳 6 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核	—
			60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			90歳代	女	疑似症患者	咳、痰、発熱
		都城	70歳代	男	肺外結核	腹水貯留
		高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30歳代	男	B型	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、発疹
			20歳代	男	B型	嘔吐、黄疸
	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	女	ヒトヘルペスウイルス	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加、無呼吸発作
			0~4歳	男	—	咳
	百日咳	都城	5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	男	—	持続する咳
			10歳代	男	—	持続する咳
		日向	5~9歳	女	—	持続する咳
		日向	10歳代	女	—	持続する咳

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

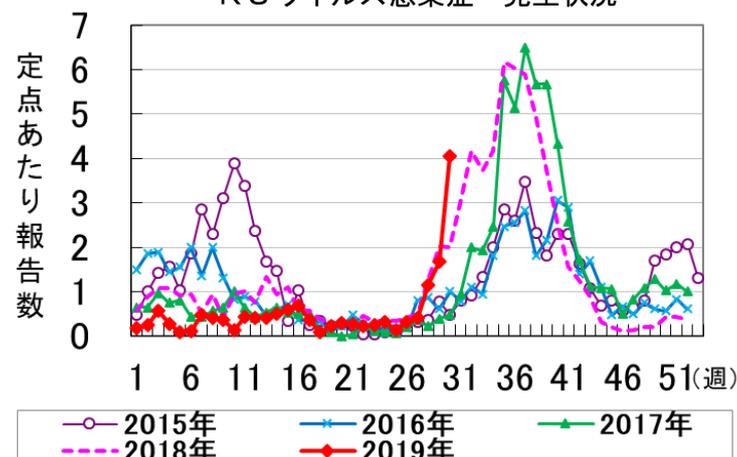
・定点医療機関からの報告総数は 716 人(定点当たり 20.7) で、前週比 124%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は咽頭結膜熱とRSウイルス感染症及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

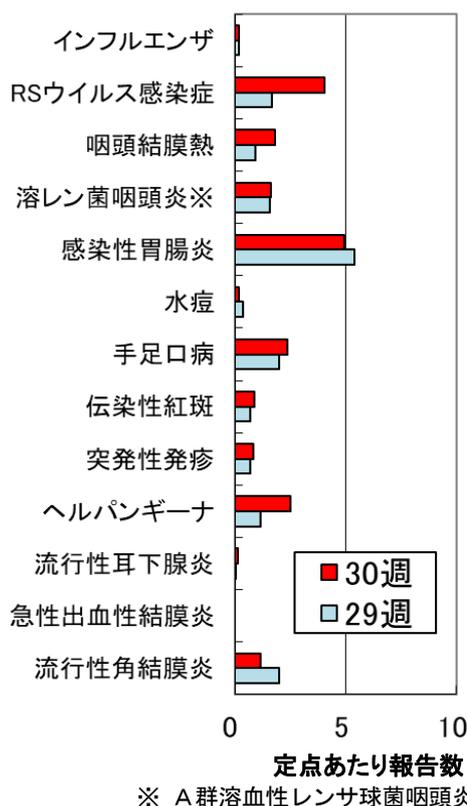
##### 【RSウイルス感染症】

報告数は 146 人(4.1)で、前週比 243%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.90)の約 4.5 倍である。延岡(18.3)、中央(7.0)、日向(4.8)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約半数を占めている。

RSウイルス感染症 発生状況



《前週との比較》



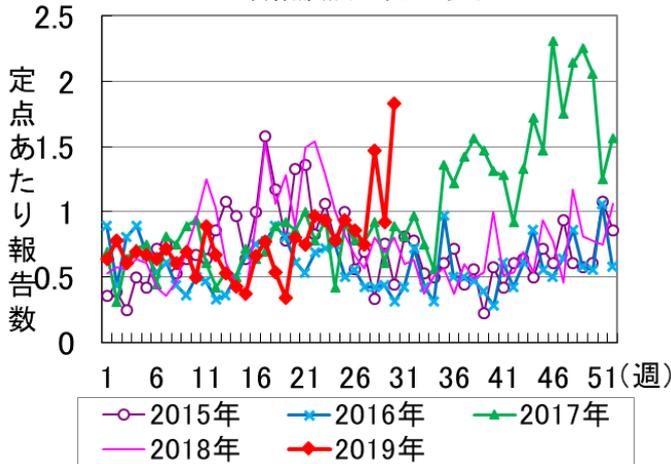
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【咽頭結膜熱】

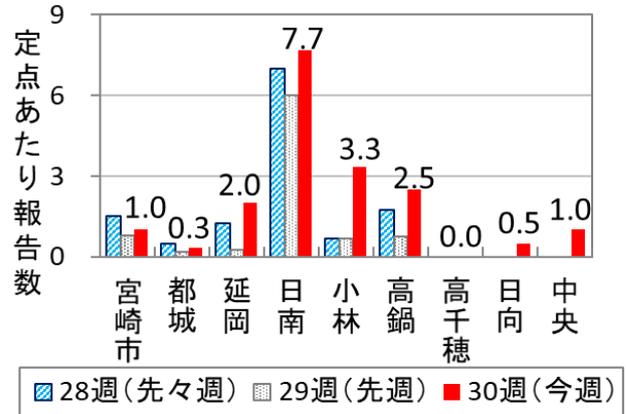
報告数は66人(1.8)で、前週比199%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.71)の約2.6倍である。日南(7.7)、小林(3.3)、高鍋(2.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約半数を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別グラフ



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	ヘルパンギーナ(7.3)
延岡	伝染性紅斑(3.3)
日南	咽頭結膜熱(7.7)、水痘(1.0)
小林	咽頭結膜熱(3.3)
高鍋	なし
高千穂	手足口病(8.0)
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・水痘(1.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年7月29日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	40歳代	女	2019.07.02	無症状	便	2019.07.12
ETEC(O8:H4 ST)	30歳代	女	2019.07.09	発熱(37.1℃)	便	2019.07.19
EHEC(O111:HNM VT1,2)	20歳代	男	2019.07.11	腹痛	便	2019.07.19

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2019.05.11	ウイルス性発疹	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2019.05.15	エンテロウイルス発疹症疑い	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	女	2019.05.20	手足口病、38.6℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2019.05.27	手足口病、39.7℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2019.05.27	ヘルパンギーナ、発熱、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2019.06.03	手足口病、水疱、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	女	2019.06.17	けいれん重積型脳症疑い、40.0℃、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液 便	2019.07.18
コクサッキーウイルスA6型 ライノウイルス	0~4歳	女	2019.05.30	不明の発疹症、紅斑	咽頭ぬぐい液	2019.07.18
ライノウイルス	0~4歳	男	2019.07.07	ウイルス感染症疑い、上気道炎	鼻汁	2019.07.12
ヒトパレコウイルス3型	0~4歳	男	2019.05.16	不明の発疹症、39.9℃、紅斑	咽頭ぬぐい液	2019.07.26
ヒトパレコウイルス3型	0~4歳	女	2019.05.31	不明の発疹症、38.3℃、口内炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2019.07.16
アデノウイルス1型	0~4歳	男	2019.06.05	アデノウイルス感染症、41.1℃、気管支炎、発疹、紅斑、下痢	咽頭ぬぐい液	2019.07.19
風疹ウイルス(再掲) (遺伝子型 1E)	40歳代	男	2019.06.12	風疹、発熱、頭痛、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)、発疹、リンパ節腫脹(耳下腺炎、顎下腺炎)	咽頭ぬぐい液	2019.07.22
デングウイルス(再掲) (遺伝子型 1型)	40歳代	男	2019.07.12	デング熱、40.0℃、丘疹、肝機能障害、胃腸炎	血清	2019.07.22

○乳幼児8名からコクサッキーウイルス A6型が分離・検出された。全国的に手足口病が流行しており、全国の手足口病患者から分離・検出されたウイルスはコクサッキーウイルス A6型が最も多くなっている。当所ではコクサッキーウイルス A6型が2019年1月から7月までに18件分離・検出されており、全国と同様の傾向を示している。

○成人男性から検出された風しんウイルスの遺伝子型は1Eであった。全国における2019年の風しんウイルス検出数は2019年7月24日現在、1Eが398件と最も多く、2Bが15件となっている。首都圏における流行は継続しているため、ワクチン接種歴が不明の場合は抗体検査やワクチン接種の検討が推奨される。

## 🇯🇵 全国 2019 年第 29 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 29 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	266 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	145 例		
4類感染症	E型肝炎	18 例	A型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	チクングニア熱	3 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	5 例
	マラリア	1 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	60 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	37 例
	急性弛緩性麻痺	4 例	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例	水痘（入院例）	6 例
	梅毒	53 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	272 例	風しん	22 例
	麻しん	2 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 89%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎である。

手足口病の報告数は38,035人(12.0)で前週比95%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値\*(4.4)の約2.8倍である。埼玉県(23.0)、福島県(21.1)、山形県(20.4)からの報告が多く、年齢群別では1~2歳が全体の約6割を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第30週(07月22日～07月28日)

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	10	12	1	1	1		3			6	
	定点当り	0.17	0.20	0.06	0.10	0.14	0.00	0.60	0.00	0.00	1.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	60	146	19	14	73	1		13		19	7
	定点当り	1.67	4.06	1.90	2.33	18.25	0.33	0.00	3.25	0.00	4.75	7.00
咽頭結膜熱	報告数	33	66	10	2	8	23	10	10		2	1
	定点当り	0.92	1.83	1.00	0.33	2.00	7.67	3.33	2.50	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	58	21	6	7	9	3	5		5	2
	定点当り	1.56	1.61	2.10	1.00	1.75	3.00	1.00	1.25	0.00	1.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	194	177	31	35	1	14	39	13	4	33	7
	定点当り	5.39	4.92	3.10	5.83	0.25	4.67	13.00	3.25	4.00	8.25	7.00
水痘	報告数	13	6	1	1		3				1	
	定点当り	0.36	0.17	0.10	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	72	85	26	13	4	5	9	2	8	15	3
	定点当り	2.00	2.36	2.60	2.17	1.00	1.67	3.00	0.50	8.00	3.75	3.00
伝染性紅斑	報告数	26	32	9	2	13	5				3	
	定点当り	0.72	0.89	0.90	0.33	3.25	1.67	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
突発性発しん	報告数	26	31	7	1	11	6	2			3	1
	定点当り	0.72	0.86	0.70	0.17	2.75	2.00	0.67	0.00	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	42	91	16	44	18		3			8	2
	定点当り	1.17	2.53	1.60	7.33	4.50	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	5			1	1		1		2	
	定点当り	0.06	0.14	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	7	4	3							
	定点当り	2.00	1.17	1.33	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～30週)

2類感染症	結核	132例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	33例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例(2)
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	1例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	13例
	破傷風	1例	百日咳	176例(6)
	麻しん	1例		

( )内は今週届出分、再掲